Barchetta BB

200HG／201HG／300HG／301HG

取 扱 説 明 書

このたびは、Barchetta（バルケッタ）BBをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
船釣りではシカケをいかに正確に棚までおろすか、すなわち棚取りの精度が釣果の決め手となります。そこで、Barchetta（バルケッタ）シリーズではシマノ独自のSLS III（シマノ・ラインプログラム・システム3）を搭載。

そして、親指一本で自在な底取りを可能にするクイックラッチとハイスピード巻き上げが、浅場の船釣りに抜群の手返しアップをもたらします。
Barchetta BBの機能を十分に引き出し、末永くご愛用いただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存してくださるようお願い申し上げます。

■特長

1 棚の水深が一目でわかるカウンター

2 SLS Ⅲ（シマノ・ラインプログラム・システム３）を搭載

シマノ独自のラインプログラムシステムを採用することで、すばやく、正確にタナを狙えます。

3 クイックラッチ搭載

頻繁な底取り操作も親指一本で自由自在。
リールを握ったままの操作を可能にします。
（操作方法は４ページ「各部の名称」をご参照ください。）

4 LEDバックライト搭載

朝早い出船や夜釣りで便利。
ボタンを押すと、ライトが約２秒間点灯します。

5 簡単に電池交換が可能

CR2032リチウム電池を使用しています。

※電池のご購入の一例：百円均一ショップにて２個入り100円（税抜き）でご購入できます。

6 糸巻学習データメモリー機能

糸巻学習を一度行えば記憶し、電池の交換の際に初期設定に戻らない便利な機能です。

7 釣行後はザブザブ水洗いOK

8 錆/塩噛みに強いボールベアリングシールドタイプ S A-RB 採用

全てのボールベアリングに新設計のシールドタイプS A-RBを採用。従来のA-RBの側面に防錆素材でシーリングし、塩水の浸入を減少。A-RB処理によるベアリングの防錆性はもちろん、ベアリング内部に浸入した塩分の結晶化による“塩噛み”をも減少させ、ソルトウォーターでの使用をさらに快適なものにしています。

9 Barchetta（バルケッタ）シリーズだけの簡単操作

- ●正確な水深を表示させるための０セットシステム。
- ●アラームで竿を上げればシカケが手元にくる船べりアラーム。
- ●高切れをしても安心なワンタッチ高切れプログラム補正システム。
- ●精密な棚取りができる0.1m単位のデジタル表示。（100m以上は１m単位）
- ●ドラグは、スムーズで強力な締付力を実現するカーボンクロスワッシャ採用。
- ●ファインセラミックガイドリング採用。
- ●ラインのからみにくい新設計レベルワインド。
- ●レベルワインドで指をはさむのを防止するセーフティレベルワインドカバー。
- ●このクラスとしては目を見張るほどの軽量コンパクト化を実現。

■デジタルカウンターの各部の名称

■ON / OFFボタン

電源をONにします。
その後は
長押しするごとに設定が切り替わります。

0 セットします。
シカケを水面に合わせて
0 セットしてください。

電源をOFFにします。
表示が消えるまで
押してください。

9秒以上

糸巻学習を設定します。
表示が E1 になるまで
押してください。

※電池の容量が足りなくなった場合、「Er.1」が表示されます。新しい電池と交換してください。

LEDバックライト点灯
ON/OFFを設定します。
表示が Lon もしくは
LoF になるまで押して
ください。

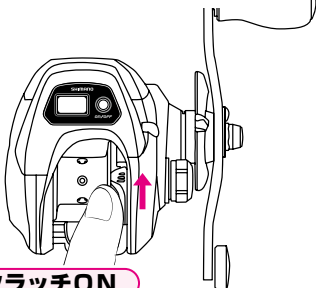
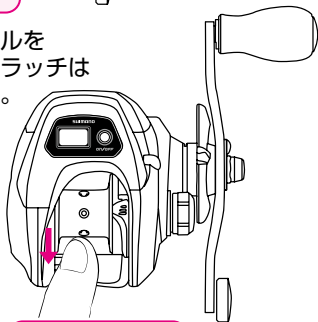
◎現在の水深

水面からの水深を表示します。 99.9 ➡ 100
※水深は10cm単位です。
（100m以上は上図のように1m単位になります。）

自動節電機能について
電源ON時、約60分間以上無使用の状態がつづくと省エネのため、自動的に電源OFFとなる機能がついております。

●図は説明のために液晶を全部点灯させています。

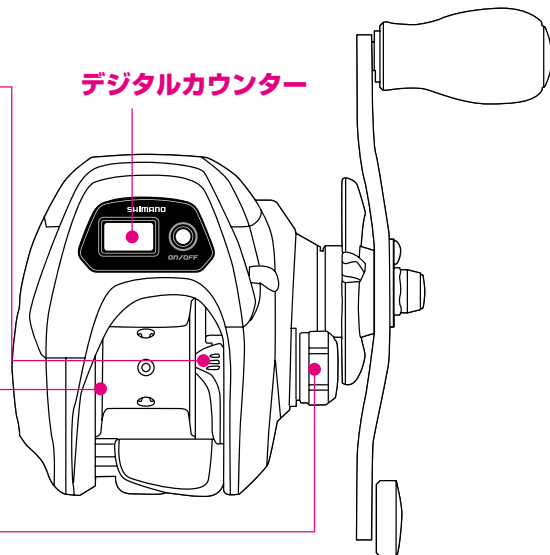
■各部の名称

クイックラッチの機能説明

もちろんハンドルを
回すことでもクラッチは
リターンします。

※糸にテンションがかかっていない状態でクラッチを（OFFからONへ）戻された場合に、ハンドル回転が重くなる場合がございます。これはクラッチが完全に戻りきっていない為の現象ですが、糸にテンションがかかればすぐに解消されます。ハンドルをゆっくりと回してクラッチを戻された時などにも発生することがありますが、実際に釣りでは（糸にテンションがかかる為）問題はございません。

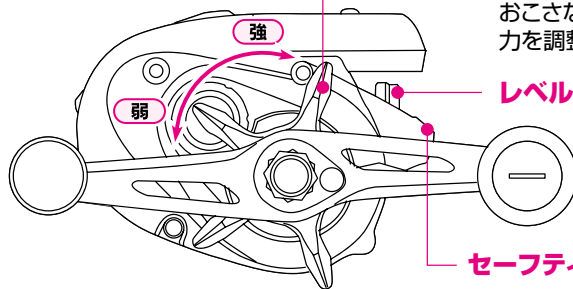
クイックラッチ
ハンドル正転または手で戻すと
ＯＮになります。（左図）
ＯＮ：シカケの巻き上げ
ＯＦＦ：スプールをフリーに
してシカケをおろします。

デジタルカウンター

下巻き目安ライン
下巻きをする
目安のラインです。
（10ページ参照）

メカニカルブレーキノブ
スプールの回転にブレーキを
かけてバックラッシュを
防止します。

スタードラグ
魚が強く引いた時ハリス切れを
おこさないように糸を送り出す
力を調整します。

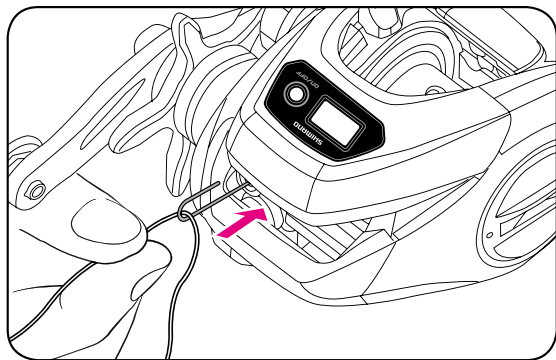
強
弱

レベルワインド

セーフティレベルワインドカバー

■学習方法（使用するラインの実測値をリールに記憶させます。）

最初に糸を巻く時や糸を巻きかえる時は、下記の操作を必ず行なってください。

このリールは、スプール回転と糸巻量の関係をマイコンに記憶させるしくみになっています。
操作は、必ず以下の順番に従って行なってください。

糸をセットします。

1 付属の糸通しピンで、図のように糸をレベルワインドに通します。

2 糸をスプールに結び、テープなどを貼って固定してください。

3 1～2回ハンドルを正転させスプールに糸がすべらずに巻けることを確認してください。

スプールに糸を巻く際の注意点

■スプールへの糸止め方法（糸を巻く時）

1. スプールにラインを結び、その結び目の上に市販のテープ等をピッタリと確実に貼ります。（指などで強く押してください。）
2. シールが確実に貼られていることを確認してラインを巻き込みます。（最初は少しゆっくりと巻くようにします。）
3. 特に PE ラインは滑り易く、伸びがないのでナイロンラインなどよりも強いテンションをかけてきっちりと巻くことが必要です。

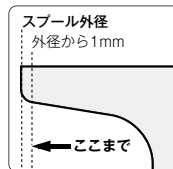
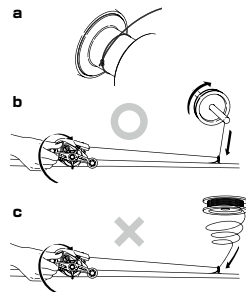
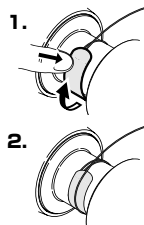
■スプールに糸を巻かれる時の注意点

PE ラインを巻かれる際には、必ず滑り止めになる様な物をスプールに巻いてからご使用ください。そのまま巻かれますと、スプールに巻いた糸が空転し、糸が巻き取れなくなる可能性があります。

■糸の巻き方

1. ドラグを強く締め込みます。
2. リールを竿にセットします。
3. 元ガイドから糸を通してスプールに結びます。（図 **a**）
4. 糸が巻かれているボビンに、割り箸や鉛筆等の軸になるものを通します。
5. そのボビンと軸を誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけて、ボビンを回転させながら糸を巻き取るようにしてください。（図 **b**）図 **c** のようにならないようご注意ください。

●推奨糸巻量

糸巻量はスプール外径から 1mm の位置まで巻くことをおすすめします。

■学習方法の選択

こちらの操作で標準モードから学習モードに入り、学習方法を選択します。
それぞれの学習方法については次ページの説明をご覧ください。

糸巻学習(L1)
従来のSLSⅡ糸巻学習

「E2」の状態から
ON／OFFボタンを1回押してください。

下巻学習(L2)
従来のSLSⅡ糸巻学習

「L1」の状態から
ON／OFFボタンを1回押してください。

引出学習(P1)

※カウンター水深表示とラインマーカーのずれを補正する機能です。

「L2」の状態から
ON／OFFボタンを1回押してください。

ON/OFFボタンを1回押すと、標準モードに戻ります。

■学習方法（使用するラインの実測値をリールに記憶させせます。）

簡単・便利なNEW SLSⅢ糸巻学習
糸巻学習（E1）

① **電源ONを確認してください。**
液晶画面が点灯していると、電源ONの状態です。点灯していない場合はON/OFFボタンを3秒未満押して電源をONにしてください。

電源をOFFにする方法

約1時間リールを動かさなければ、自動的にOFFになります。ご自分でOFFにされる場合は、ON/OFFボタンを6秒以上押し続けてください。

② **ON／OFFボタンを9秒以上押してください。6秒で表示が消えますが、そのまま押し続けてください。**
「E1」が表示されたらボタンを離してください。

※電池の容量が足りなくなった場合、「Er.1」が表示されます。新しい電池と交換してください。

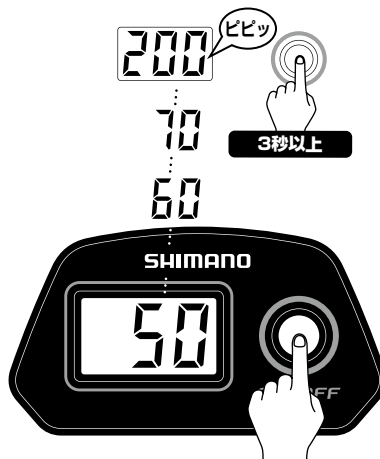
③ **ハンドルで糸を巻いてください。**
巻き始めると「ピピッ」と鳴りますが、そのまま巻き続けてください。

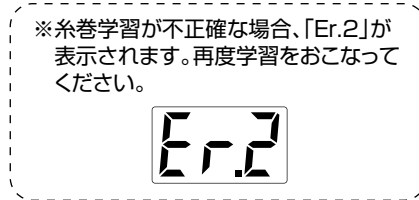
※カウンターの数字はスプールの回転数に比例した数字です。実際に釣りをする時と同じくらいのテンション（800g程度）で糸を巻いてください。

※カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合に同じ数字を示すわけではありません。

※糸巻学習が不正確な場合、「Er.2」が表示されます。再度学習をおこなってください。

④ **糸を完全に巻き終えたら ON／OFFボタンを3秒以上押してください。**

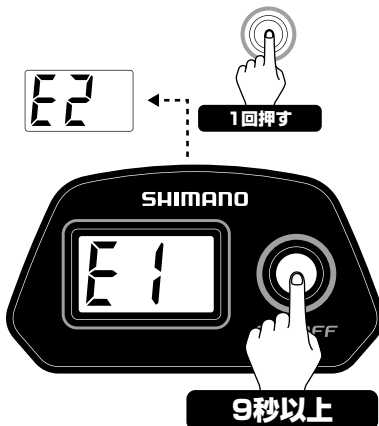
注意：糸を全部巻き込まないようにしてください。巻き込みますと、カウンター誤差の原因になります。

⑤ **設定したい長さになるまでボタンをくり返し押して、糸の長さをセットしてください。**

※初期設定は50mです。
（図は50mから200mに変更した場合です。）
※ボタンを押すと10m単位で400まで数値が上がり、400を超えると50へ戻ります。

⑥ **表示は標準画面に戻り、学習は完了です。**

（カウンターの数値と実際の糸の出た長さとでは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。）
※誤差とは学習後最初の1投目の誤差です。

■学習方法（使用するラインの実測値をリールに記憶させます。）

簡単・便利なNEW SLSⅢ糸巻学習
下巻学習（E2）

※200番…PE1.5号100m、PE1号100m
300番…PE2号100m、PE1.5号100m
を巻かれる場合:
スプールの下巻きラインを使用してください。

① **電源ONを確認してください。**
液晶画面が点灯していると、電源ONの状態です。点灯していない場合はON/OFFボタンを3秒未満押して電源をONにしてください。

電源をOFFにする方法

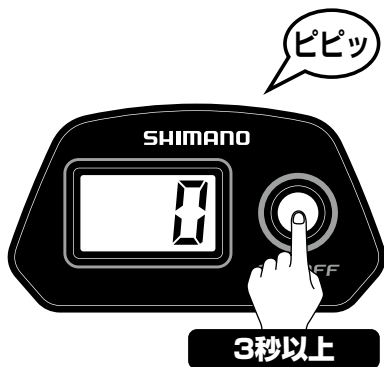
約1時間リールを動かさなければ、自動的にOFFになります。ご自分でOFFにされる場合は、ON/OFFボタンを6秒以上押し続けてください。

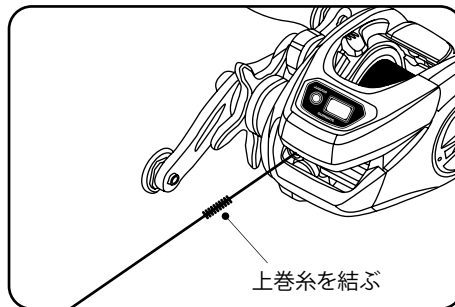
② **ON／OFFボタンを9秒以上押してください。**
6秒で表示が消えますが、そのまま押し続けてください。
「E1」が表示されたらボタンを離してください。
次にボタンを1回押してください。「E2」が表示されます。

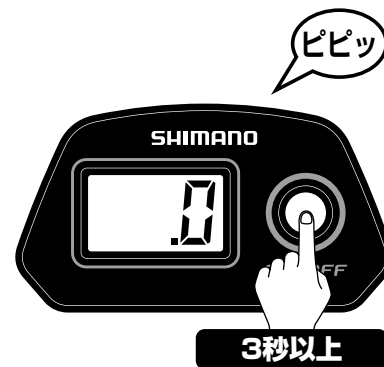
※電池の容量が足りなくなった場合、
「Er.1」が表示されます。新しい電池と交換してください。

③ **ハンドルで糸を巻いてください。**
巻き始めると「ピピッ」と鳴りますが、そのまま巻き続けてください。

※カウンターの数字はスプールの回転数に比例した数字です。実際に釣りをする時と同じくらいのテンション（800g程度）で糸を巻いてください。

※カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合に同じ数字を示すわけではありません。

④ 下巻き用の糸を巻き終えたら ON／OFFボタンを3秒以上押してください。

注意：糸を全部巻き込まないようにしてください。巻き込みますと、カウンター誤差の原因になります。

⑤ 巻き取った下巻き糸の先に上巻き糸を結びつけ正確に10m巻いてください。

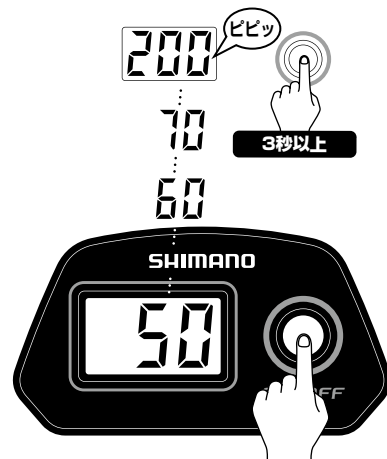
※スプールの回転数に応じて表示が変化します。

⑥ 上巻き糸を10m分巻き終えたら ON／OFFボタンを3秒以上押してください。

次ページにつづく

■学習方法（使用するラインの実測値をリールに記憶させます。）

⑦ **残りの上巻き糸を巻いてください。**

⑧ **糸を完全に巻き終えたらON／OFFボタンを3秒以上押してください。**

注意：糸を全部巻き込まないようにしてください。巻き込みますと、カウンター誤差の原因になります。

⑨ **設定したい長さになるまでボタンをくり返し押して、糸の長さをセットしてください。**

※初期設定は50mです。（図は50mから200mに変更した場合です。）
※ボタンを押すと10m単位で400まで数値が上がり、400を超えると50へ戻ります。
☆「上巻き10m分」+「残りの上巻き分」を合わせた距離を入力してください。

※カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合に同じ数字を示すわけではありません。

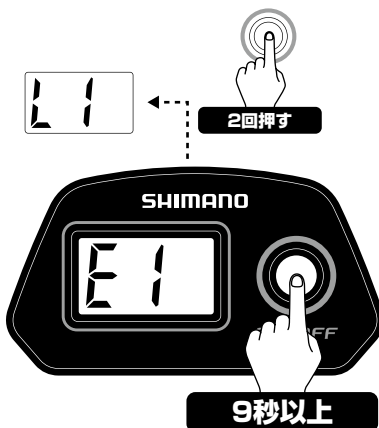
※糸巻学習が不正確な場合、「Er.2」が表示されます。再度学習をおこなってください。

⑩ **表示は標準画面に戻り、学習は完了です。**

（カウンターの数値と実際の糸の出た長さとでは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。）

※誤差とは学習後最初の1投目の誤差です。

■学習方法（使用するラインの実測値をリールに記憶させます。）

従来のSLSⅡ糸巻学習
糸巻学習（L1）

①　**電源ONを確認してください。**

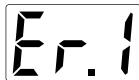
液晶画面が点灯していると、電源ONの状態です。点灯していない場合はON/OFFボタンを3秒未満押して電源をONにしてください。

電源をOFFにする方法

約1時間リールを動かさなければ、自動的にOFFになります。ご自分でOFFにされる場合は、ON/OFFボタンを6秒以上押し続けてください。

②　**ON／OFFボタンを9秒以上押してください。**
6秒で表示が消えますが、そのまま押し続けてください。

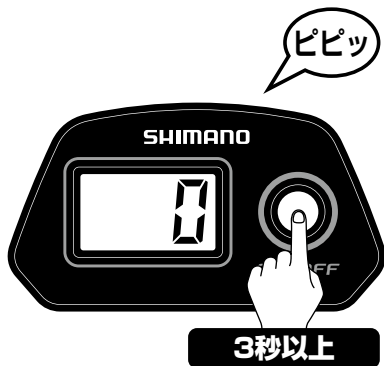
「E1」が表示されたらボタンを離してください。
次にボタンを2回押してください。「L1」が表示されます。

※電池の容量が足りなくなった場合、「Er.1」が表示されます。新しい電池と交換してください。

③　**ハンドルで糸を巻いてください。**

巻き始めると「ピピッ」と鳴りますが、そのまま巻き続けてください。

※カウンターの数字はスプールの回転数に比例した数字です。実際に釣りをする時と同じくらいのテンション（800g程度）で糸を巻いてください。

※カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合に同じ数字を示すわけではありません。

※糸巻学習が不正確な場合、「Er.2」が表示されます。再度学習をおこなってください。

④ **糸を完全に巻き終えたら ON／OFFボタンを3秒以上押してください。**

注意：糸を全部巻き込まないようにしてください。巻き込みますと、カウンター誤差の原因になります。

⑤ **糸を正確に10m引き出してください。**

※スプールの回転数に応じて表示が変化します。

学習を終了するため、ON/OFFボタンを3秒以上押してください。

⑥ **表示は標準画面に戻り、学習は完了です。**

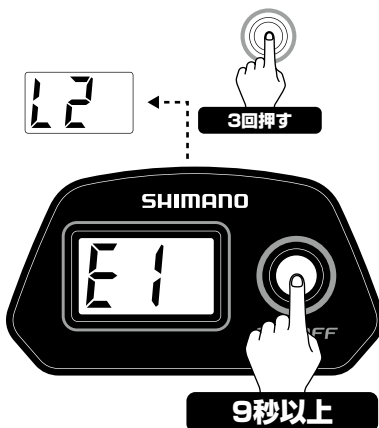
（カウンターの数値と実際の糸の出た長さとでは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。）

※誤差とは学習後最初の1投目の誤差です。

⑦ **引き出した10m分の糸を巻き取ってください。**

■学習方法（使用するラインの実測値をリールに記憶させます。）

従来のSLSⅡ糸巻学習
下巻学習（L2）

※200番…PE1.5号100m、PE1号100m
300番…PE2号100m、PE1.5号100m
を巻かれる場合:
スプールの下巻きラインを使用してください。

① **電源ONを確認してください。**
液晶画面が点灯していると、電源ONの状態です。点灯していない場合はON/OFFボタンを3秒未満押して電源をONにしてください。

電源をOFFにする方法

約1時間リールを動かさなければ、自動的にOFFになります。ご自分でOFFにされる場合は、ON/OFFボタンを6秒以上押し続けてください。

② **ON／OFFボタンを9秒以上押してください。**
6秒で表示が消えますが、そのまま押し続けてください。
「E1」が表示されたらボタンを離してください。
次にボタンを3回押してください。「L2」が表示されます。

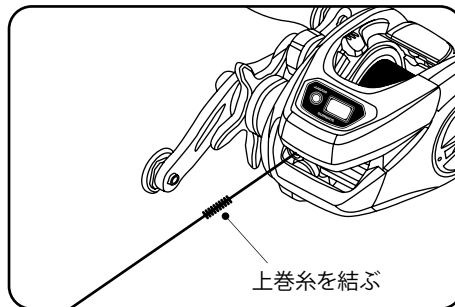
※電池の容量が足りなくなった場合、「Er.1」が表示されます。新しい電池と交換してください。

③ **ハンドルで糸を巻いてください。**
巻き始めると「ピピッ」と鳴りますが、そのまま巻き続けてください。

※カウンターの数字はスプールの回転数に比例した数字です。実際に釣りをする時と同じくらいのテンション（800g程度）で糸を巻いてください。

※カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合に同じ数字を示すわけではありません。

④ **下巻き用の糸を巻き終えたら ON／OFFボタンを3秒以上押してください。**

注意：糸を全部巻き込まないようにしてください。巻き込みますと、カウンター誤差の原因になります。

⑤ **巻き取った下巻き糸の先に上巻き糸を結びつけ正確に10m巻いてください。**

※スプールの回転数に応じて表示が変化します。

⑥ **上巻き糸を10m分巻き終えたら ON／OFFボタンを3秒以上押してください。**

次ページにつづく

■学習方法（使用するラインの実測値をリールに記憶させせます。）

⑦ **残りの上巻き糸を巻いてください。**

⑧ **糸を完全に巻き終えたらON／OFFボタンを3秒以上押してください。**

注意 ： 糸を全部巻き込まないようにしてください。巻き込みますと、カウンター誤差の原因になります。

⑨ **糸を正確に10m引き出してください。**

※スプールの回転数に応じて表示が変化します。

学習を終了するため、ON/OFFボタンを3秒以上押してください。

※カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合に同じ数字を示すわけではありません。

※糸巻学習が不正確な場合、「Er.2」が
表示されます。再度学習をおこなって
ください。

⑩ **表示は標準画面に戻り、**
学習は完了です。

（カウンターの数値と実際の糸の
出た長さとでは最大で±3%の
誤差が生じる場合があります。）
※誤差とは学習後最初の1投目の
誤差です。

⑪ **引き出した10m分の糸を**
巻き取ってください。

■学習方法（使用するラインの実測値をリールに記憶させせます。）

簡単・便利な糸巻学習
引出学習（P1）

※このモードは、カウンター水深表示とラインマーカーのずれを補正する機能です。
ずれを補正することでより正確な棚取りを行えます。

① **電源ONを確認してください。**
液晶画面が点灯していると、電源ONの状態です。点灯していない場合はON/OFFボタンを3秒未満押して電源をONにしてください。

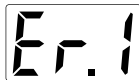
電源をOFFにする方法

約1時間リールを動かさなければ、自動的にOFFになります。ご自分でOFFにされる場合は、ON/OFFボタンを6秒以上押し続けてください。

② **ON／OFFボタンを9秒以上押してください。6秒で表示が消えますが、そのまま押し続けてください。**
「E1」が表示されたらボタンを離してください。
次にボタンを4回押してください。「P1」が表示されます。

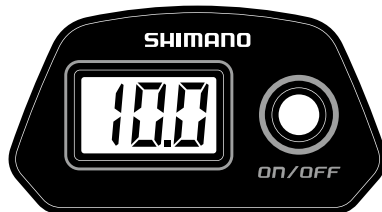
※電池の容量が足りなくなった場合、「Er.1」が表示されます。新しい電池と交換してください。

Er.1

③ **糸を正確に10m引き出してください。**
糸を引き出し始めると「ピピッ」と鳴りますが、そのまま糸を出し続けてください。

【引出学習（P1）を行う際の注意点】

※引出学習（P1）のみの操作では、糸巻学習は行えません。糸巻学習を行う際はE1、E2、L1、L2のいずれかのモードを使用してください。
　釣り場および釣行前など、カウンター誤差を補正したい場合にのみ、引出学習（P1）を行ってください。
※必ず、表示「0.0」に合わせたい位置まで糸を巻き取ってから引出学習（P1）を行ってください。
　糸を巻き取らずに引出学習（P1）を行った場合、カウンター 誤差が生じる恐れがあります。

※カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合に同じ数字を示すわけではありません。

④ **糸を10m引き出し終えたら ON／OFFボタンを3秒以上押してください。**

⑤ **表示は標準画面に戻り、学習は完了です。**

（カウンターの数値と実際の糸の出た長さとでは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。）
※誤差とは学習後最初の1投目の誤差です。

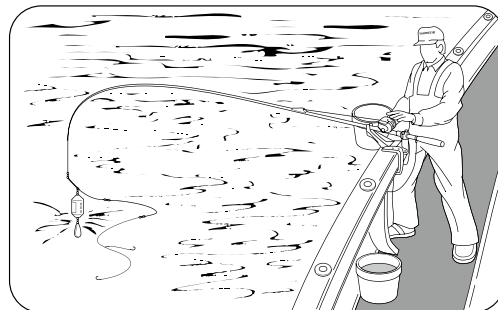
⑥ **引き出した10m分の糸を巻き取ってください。**

※糸巻学習が不正確な場合、「Er.2」が表示されます。再度学習をおこなってください。

■0（ゼロ）セットの設定（釣りを始める前に必ず行なってください。）

正確な棚取りを実現するために。

釣果アップには、正確な棚取りが不可欠です。
そこで「0セット」を設定します。
「0セット」とは、シカケが水面にある時を0mとして設定することです。
「0セット」によって、シカケの位置が水深を示すようになり、正確な棚取りを可能にします。

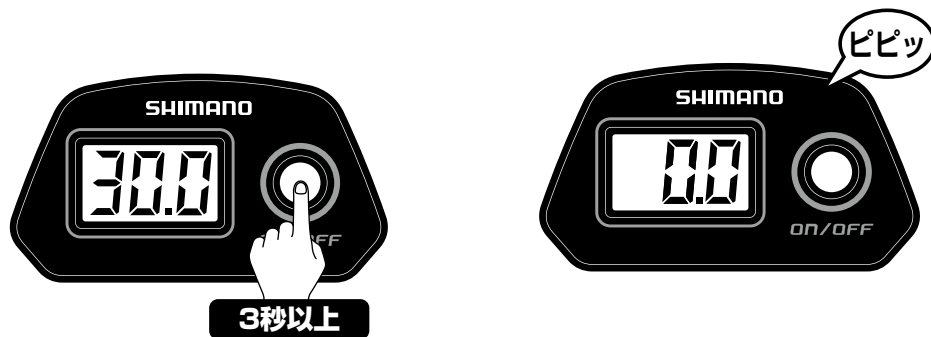
※糸を巻き込み過ぎた状態での0セットは、糸巻学習が不正確になる原因となりますのでおやめください。
※水深表示が10.1m以上で0セットをすると、高切れ補正となります。

シカケが水面にある時を0mとして設定します。

ご注意!
糸を巻き込み過ぎた状態での0セットは、糸巻学習が不正確になる原因となりますのでおやめください。

① シカケを水面に合わせ、ON/OFFボタンを3秒以上押してください。

② 「ピピッ」のアラームが鳴り、上図のように表示が変わります。これで0セットは完了です。

高切れした場合も、簡単操作で補正が可能です。

※水深表示が１０.１ｍ以上で０セットすると、高切れ補正となります。

① シカケを水面に合わせ、ON/OFFボタンを3秒以上押してください。

② 「ピピッ」のアラームが鳴り、上図のように表示が変わります。これで0セットは完了です。

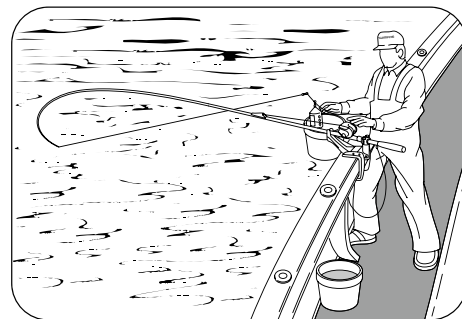
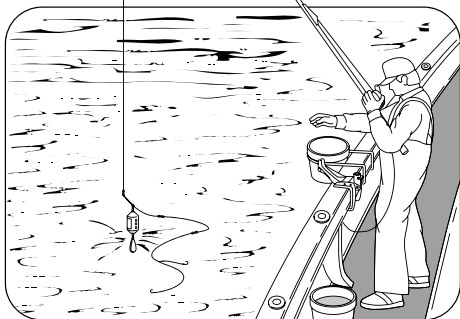
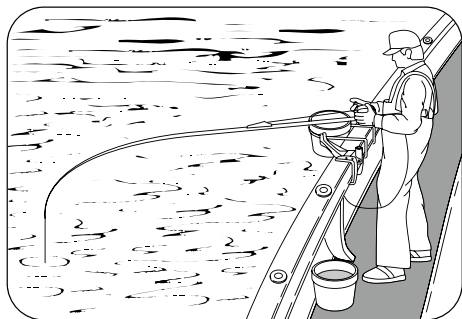
ご注意!

糸を巻き込み過ぎた状態での0セットは、糸巻学習が不正確になる原因となりますのでおやめください。

■船べりアラーム

船べり停止位置が自動的にセットされ、アラームでお知らせします。

巻き上げを終えて竿を上げた時、シカケまたはコマセカゴが正確に手元に来ればコマセの詰め替え・エサ付けがスムースに行なえ、手返しを早くすることができます。
このリールでは、船べりでアラームが鳴った時に竿を立てると、シカケが正確に手元にくるように自動的に設定されるようになっています。

※電源を入れ初回の投入時のみ6mで船べりアラームが設定されています。2回目以降はコンピュータが自動的に判断して、前回のシカケ投入の位置に自動設定します。
（この機能は1m～6mの範囲で作動します。）

1 **記憶した船べり停止位置よりも4m手前から2mおきに「ピッ」のアラームが鳴ります。**

2 **3回目の「ピピッ」のアラームで巻き上げを停止して、竿を立てるとシカケが手元に来ます。**

ご注意：電池が容量不足の状態でご使用を続けられますと、回路保護の為アラームが鳴らなくなります。穂先の巻き込みを防止する為にも、釣行前にご確認ください。

●ワンポイントアドバイス
短い竿、例えば1mの竿で足場の高い船のミヨシで釣りをされる場合、通常のように海面で0セットをされますと、船べりアラームが働く1～6mの範囲に入らなくなります。そんな時はシカケを穂先位置まで巻き上げ、その位置で0セットをされますと手元にシカケが来るようになります。その際、海面で0セットされていない為、竿先から海面までの距離が実際にはズレてしまいます。
※穂先の巻き込みには十分に気をつけてください。

■ LED バックライト ON ／ OFF 設定

① **電源ONを確認してください。**
液晶画面が点灯していると、電源ONの状態です。点灯していない場合はON/OFFボタンを3秒未満押して電源をONにしてください。

電源をOFFにする方法

約1時間リールを動かさなければ、自動的にOFFになります。
ご自分でOFFにされる場合は、ON/OFFボタンを6秒以上押し続けてください。

② **ON／OFFボタンを12秒以上押してください。**
※ Lon もしくは LoF が表示されたらボタンを離してください。

③ **ボタンを押すごとに、LEDバックライトON／OFFが切り替わります。**

④ Lon **が表示されている時にON/OFFボタンを3秒以上押すと、LEDバックライトがONになります。**

LoF **が表示されている時にON/OFFボタンを3秒以上押すと、LEDバックライトがOFFになります。**

■電池の交換方法

1 電池の交換時期

カウンターの表示が、うすくなって見えにくくなったりアラームが小さくなったら、電池の交換時期です。
市販のCR2032ボタン電池をお求めの上交換してください。
なお、糸巻学習中に Er.1 の表示が出れば電池寿命です。

※CR2032は釣具店様や電器店様でご購入できます。
※通常の使用で3年程度の電池寿命です。

2 電池の交換方法

1. コインなどを使って取り外します。
2. 古い電池を取り出します。
3. 新しい電池を入れます。（手前側が+になるように）
4. バッテリーキャップを取り付け、あたるところまでしっかり締め付けます。
（パッキンを使用した防水構造になっていますので、パッキンに注意すると同時に、確実に取り付けてください。）
5. 電池を“ON”し、正しく電池が交換されているかを確認します。

※正しく交換されている場合、図のように表示されますが、正しく交換されていない場合は、
電池の仕様、+－、接触等を確認してください。

●正しく交換されている場合

交換時の注意

●湿度の高い場所での交換は避けてください。
●バッテリーキャップを長時間開けたままにしないでください。
●電池の+－をまちがえないようにしてください。

■お取り扱い上の注意

本製品は、精密部品で構成されていますので下記注意事項を守ってお取り扱いください。また、釣行後の手入れを十分行ない、末永くご使用ください。

1 リールのお手入れ方法

本製品はリールに付いたコマセなどの汚れを洗い落とし、簡単にメンテナンスできるシステムになっています。

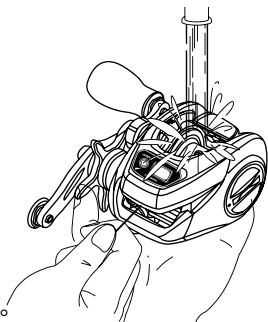
用意するもの：リール・スポンジ

1. まずドラグをしっかり締め込んでください。
2. 水道水をリールにかけながら、水を含ませたスポンジで汚れを落とします。
3. スプールと本体の間に水をかけながら、クラッチを切って道糸を２～３m出します。（右図参照）これによりスプール軸受け部に付着した塩分を洗い流せます。
4. 影干ししてよく乾燥させてください。

※水中に浸けて洗わないでください。

※保管の際にはドラグをゆるめてください。

※**ベアリングの塩カミについて**

S A-RB（シールド耐塩水ベアリング）はベアリング本体、シールドともに錆びにくい物になっています。しかしシールドはベアリング内部に塩水が浸入して発生する『塩噛み』を完全に防ぐものではありません。ベアリング内部に塩水が浸入して乾燥すると、塩噛みを起こす場合があります。錆びている訳ではありませんが、同様に音なり、ゴロ付き等の症状が出る場合があります。その場合、S A-RB を取り出して真水で洗い流して塩抜きするか、S A-RB ごと交換しなければ完全には解消出来ません。メンテナンスをお受けいただくことをお勧めします。

2 ご使用上の注意

●根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。

●リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バッグ内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。

●リールは落としたり、衝撃を与えないよう、ていねいに扱ってください。

●リール収納時に各スイッチボタンが押されたままの状態になりますと電池消耗を生じますので、収納時には各スイッチボタンに接触しないようにご注意ください。

●偏光グラスの種類によってカウンターの液晶画面が見にくくなる場合があります。

●電源 OFF の状態や、電池がなくなった状態で糸を出し入れされましても、一切学習に反映されません。この場合、元の状態に戻せば問題ありませんが、戻せない場合、再学習となります。

●防水性を考え、バッテリーキャップは出荷時にしっかりと閉めてあります。バッテリーキャップの開閉は電池交換以外はお避けいただき、交換後は、あたるところまでしっかりと閉めてください。

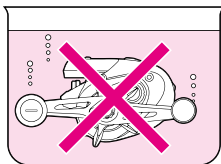
3 お手入れの方法

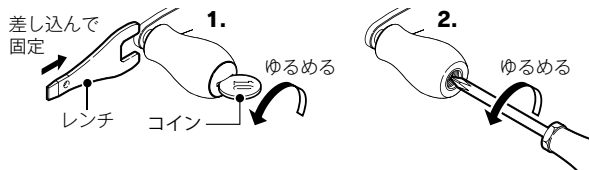
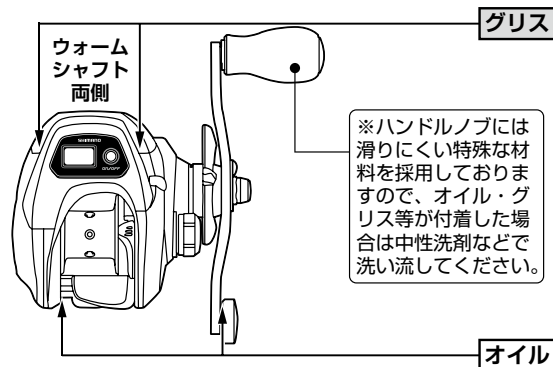
●各部分に付着したゴミ、砂などは、真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取って十分乾燥させてください。
特に、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。

●リールは分解しないでください。特に本体のハンドル側は絶対に分解しないでください。

●ドラグ部分には絶対オイルを付けないでください。オイルが入るとドラグ力が低下することがあります。ドラグ部分には水が入らないようにしてください。

●高温、高湿の状態で長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、上記または前ページの手入れを実施後、風通しの良い場所で保存してください。

●リール本体、特にカウンターユニット部は、水没させないでください。（カウンターユニットは日常生活防水仕様ですがトラブルを防止するため、水没させないでください。）

●ハンドルノブの取り外し方

1. 付属のハンドルノブレンチを下図のように使用し、四角形のハンドル軸を固定してコインなどでハンドルノブキャップをゆるめて取り外します。
2. ノブ内部のボルトをゆるめて外します。

●オイル・グリス UP ポイント

●オイル・グリス類はシマノ純正品（別売・下記）をお使い下さい。そうでない場合の品質の保証はいたしかねます。ご留意ください。

ザルスリールオイルスプレー（SP-015L） **シマノ純正リールオイルスプレー（SP-013A）** **シマノ純正リールグリススプレー（SP-023A）**

いずれも小売店様にてご注文ください。

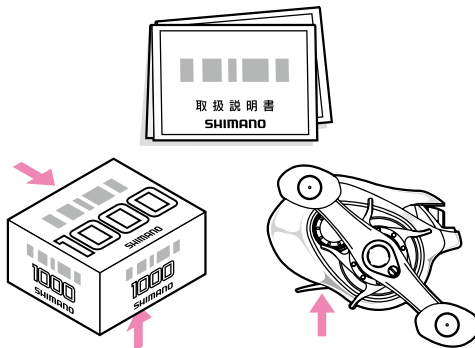
製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。お手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様のお電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

●修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず修理箇所、不具合内容を具体的に（例／ストッパーが働かない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。

●ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、お買い上げの販売店もしくは最寄りの販売店にご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。（例／製品名：バルケッタ BB　商品コード：03213　製品コード：5RF740200　部品番号：2　部品名：ハンドル）

●弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後 6 年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後 6 年以内でも供給できない可能性がございます。

●商品コード / 製品コードの位置
取扱説明書・分解図・パッケージ底面部もしくは側面部に製品コードの上５ケタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。

■仕様

機種名	品番	商品コード 製品コード	ギア比	最大 ドラグ力 (N/kg)	自重 (g)	糸巻量 PE [パワープロデプスハンター船] (号-m)	糸巻量 ナイロン (号-m)	最大巻上長 (cm/ハンドル 1回転)	スプール寸法 (径mm/ 幅mm)	ハンドル長 (mm)	ベアリング数 (ボール/ ローラー)
バルケッタ BB	200HG	03213 5RF740200	7.0	44.1 /4.5	220	1-200 1.5-140 2-100	2-110 3-80	70	32/22	51	3/1
	201HG	03214 5RF740201	7.0	44.1 /4.5	220	1-200 1.5-140 2-100	2-110 3-80	70	32/22	51	3/1
	300HG	03215 5RF740300	7.0	44.1 /4.5	220	1.5-200 2-150 3-100	3-140 4-100	70	32/22	51	3/1
	301HG	03216 5RF740301	7.0	44.1 /4.5	220	1.5-200 2-150 3-100	3-140 4-100	70	32/22	51	3/1

●下巻き目安ラインまで下巻きすれば、下記の糸を巻くことが可能です。目安としてお使いください。
200シリーズ … PE１号-100m、PE１.５号-100m
300シリーズ … PE１.５号-100m、PE２号-100m

●**ご注意：**
PE１.５号以下の細いPEラインを使われますと、巻き過ぎたり、バックラッシュの際に、スプールとフレームのすき間で糸ガミする恐れがありますのでご注意ください。

●ボールベアリングには、従来のA-RBをシーリングし塩分の浸入を減少させ、ソルトウォーターでの使用をより快適にしたS A-RB（Shielded Anti-Rust Bearing）を使用しています。また、ローラーベアリングにはA-RBを採用しています。

●**標準付属品**：取扱説明書、分解図、専用レンチ、糸通しピン

●**夢屋パーツ取り付け可能**

品番	ハンドル	ハンドルノブ
200HG･201HG･300HG･301HG	BH-1	A

※詳細はシマノホームページでご確認ください。

■故障かな？と思われたときは

こんなとき	操作	参照ページ
液晶が真っ黒、あるいは全文字が現れる。	高温度の雰囲気（車のトランクの中等）にさらされた時に生じる場合がありますが、温度が下がるにしたがって正常にもどります。	―
液晶が表示しない。	ON／OFFボタンを押して下さい。 電池切れ、＋－のまちがいなどを確認してください。	3・26
糸巻学習が完了できない。	巻き取り長さが糸巻学習完了の条件を満たしていないことが考えられます。 お手数ですが再度学習の上確認ください。50m以上の糸長さでの学習をおすすめいたします。	5～19
ラインを送り出してもカウントしない。	お手数ですが再度学習の上確認ください。	5～19
船べり停止位置が違う。	巻き上げのテンションや糸の伸びの影響と思われます。水面での０セットを行なってください。 また、入力可能な船べりセットは、１m～６m未満の範囲です。 ０m～１m未満のセットは安全のため１mに設定しています。	20～22
誤差が大きい。	お手数ですが再度学習の上確認ください。 糸が伸びて不正確になっているときがあります。（特にナイロンライン、フロロライン）	5～19
液晶表示がうすい。	室温にて確認ください。低温（－5℃以下）にて使用の場合 電池の能力低下で表示がうすくなることがあります。 そうでない場合は電池の消耗と考えられます。	3・6・24
カウンター表示と、糸の水深色分けとが一致しない。	糸の種類により、程度の差はありますが、使用中に糸が伸びることにより カウンターの表示との間にズレを生じる場合があります。	―
電源投入時に英数字が2秒間表示される。	識別のための表示で、故障ではございません。表示内容は機種ごとに異なります。	―

釣りを楽しく行っていただくために、釣行前には必ず電源を入れてリールが正常に作動すること、ご確認くださいます様お願いいたします。

以上の確認を行っても直らない場合は、お手数ですがお買い上げになった販売店にお預けください。
その際に故障内容をできるだけ詳しくお伝えください。

●表示が下図のようになるときは…

Er.1

電池の消耗によるものです。
糸巻学習を完了することができません。
新しい電池と交換してください。

糸巻学習が不正確な場合、「Er.2」が表示されます。
再度学習をおこなってください。

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 注 意

	●糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。 指をはさまれてけがをするおそれがあります。 ●ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをするおそれがあります。
	●ストッパーをOFFにして釣っているとハンドル等が逆転し、手に当たりけがをするおそれがあります。 ●糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。 ●メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。
	●回転しているスプールには触れないでください。 けがをするおそれがあります。

●糸通しピン

株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ　仙台営業所
〒983-0043　仙台市宮城野区萩野町2-17-10　TEL.(048)772-6662

株式会社シマノ　埼玉営業所
〒362-0043　埼玉県上尾市西宮下3-194-1　TEL.(048)772-6662

株式会社シマノ　東京営業所
〒143-0013　東京都大田区大森南1-17-17　TEL.(03)3744-5656

株式会社シマノ　名古屋営業所
〒454-0012　名古屋市中川区尾頭橋2-6-21　TEL.(052)331-8666

株式会社シマノ　大阪営業所
〒590-8577　大阪府堺市堺区老松町3-77　TEL.(072)223-3920

株式会社シマノ　中国営業所
〒700-0941　岡山市南区青江6-6-18　TEL.(086)264-6100

株式会社シマノ　四国営業所
〒768-0014　香川県観音寺市流岡町1496-1　TEL.(0875)23-2220

株式会社シマノ　九州営業所
〒841-0048　佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6　TEL.(0942)83-1515

株式会社シマノ釣具事業部
本　社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

●商品の性能・スペック、カタログ、イベントや
アフターサービスなどに関するお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-861130（ハローイイサオ）
フリーダイヤルをご利用できない方は **072-243-8538（有料）** をご利用ください。
受付時間:AM9:00～12:00・PM1:00～5:00（土・日・祝日除く）

■シマノホームページ アドレスは **http://www.shimano.com** です。
新製品情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではの
オリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。

Printed in Malaysia (140131) 043